

ソースコードの左の数字は行番号です。

今回は教科書の8章の範囲を説明します。「予習確認テスト」ではなく、授業の最後に行う「確認テスト」です。以下の項目を講義で説明しますので必ずしも予習は必要ではありません。

【暗記事項1】から【暗記事項8】まではすべて、「A: 正しい」が正答となります。確認テストでは表現を変えて「B: 間違っている」が答えになることもあります。

【暗記事項1】 パッケージを用いることにより、クラス、インタフェース、サブパッケージをまとめることができる。

【暗記事項2】 サブパッケージとは、パッケージに含まれたパッケージである。

【暗記事項3】 パッケージ名は、通常、小文字で始める。

【暗記事項4】 完全修飾名とは、パッケージ名を含んだクラスの名前である。

【暗記事項5】 完全修飾名では、パッケージ名とクラスの間をコンマでつなぐ。

【暗記事項6】 import文を用いると、クラスを単純名で利用することができる。

【暗記事項7】 import文の書式は「import 完全修飾名;」、または、「import パッケージ名.\*;」である。

【暗記事項8】 パッケージ図は、パッケージの構成を図示するためのものである。

- ・ 例題8-1、章末の演習1のような問題を出す可能性があります。
- ・ 表8.1、表8.2について、穴埋め問題を出す可能性があります。